

二〇一五年度 イング文芸大賞

小学生の部 最優秀賞受賞作品



だんご作り

イングつる見校 小学三年 山田 琴子

わたしは、おぼんにいなかのおばあちゃんの家に行きました。そして、おばあちゃんとお母さんと三人で、おそなえのだんごを作りました。はじめに、おばあちゃんが米こと小麦こと水をまぜて、生地を作りました。水は少しずつ入れて、力強くこねていきます。しばらくすると、きれいに丸くまとまりました。

次に、生地を一分ずつに分けて、平らにしあんこを入れました。わたしも、これはいっしょに手つだいました。あんこをつつむ時、生地にしわがあるときれいに見えないので、表面がつるつるになるように、形を作りました。一生けんめい丸めているとおばあちゃんが、

「去年よりは、上手だね。」

と言ってくれました。おばあちゃんにほめられて、とてもうれしかったです。

さい後に、だんごをむしきにならべて二十分むしました。むしあがっただんごは、表面がすき通って少し光っていました。形がきれいな物をえらんで、ぶつだんにおそなえしました。ほとけさまもよろこんでくれているかなあと思いました。

みんなでだんごを食べていると、おじいちゃん、

「ことの作った分が一番おいしいよ。」

と言ってくれました。だんごはおいしいし、もう一度ほめられて、私は楽しくなってきました。いなかのそばくなだんごだけれど、わたしはこれが大好きです。また、来年もおばあちゃんといっしょに作りたいです。

